

あなたも当事者。生活排水が、河川や湖沼、海の水を汚しています。

あなたが使ったその水。
その水は繰り返し使われています。

私たちは主に河川の水を水道水として利用しています。上流で使われ、放流された水は、下流の人たちがまた利用しています。限られた水を繰り返し使わなければならないからこそ、私たちはもっと水の汚れぐあいに関心を持つ必要があるのです。

その水を使うのは私たち人間だけではありません。

私たちが使った水はさらに川や海など水にすむ生き物が利用します。川や海が汚れると、魚などの生き物はすみづらくなります。

そして…、

みんなが使った水は、雲となり、雨となり、再びあなたのもとにやってくるのです。

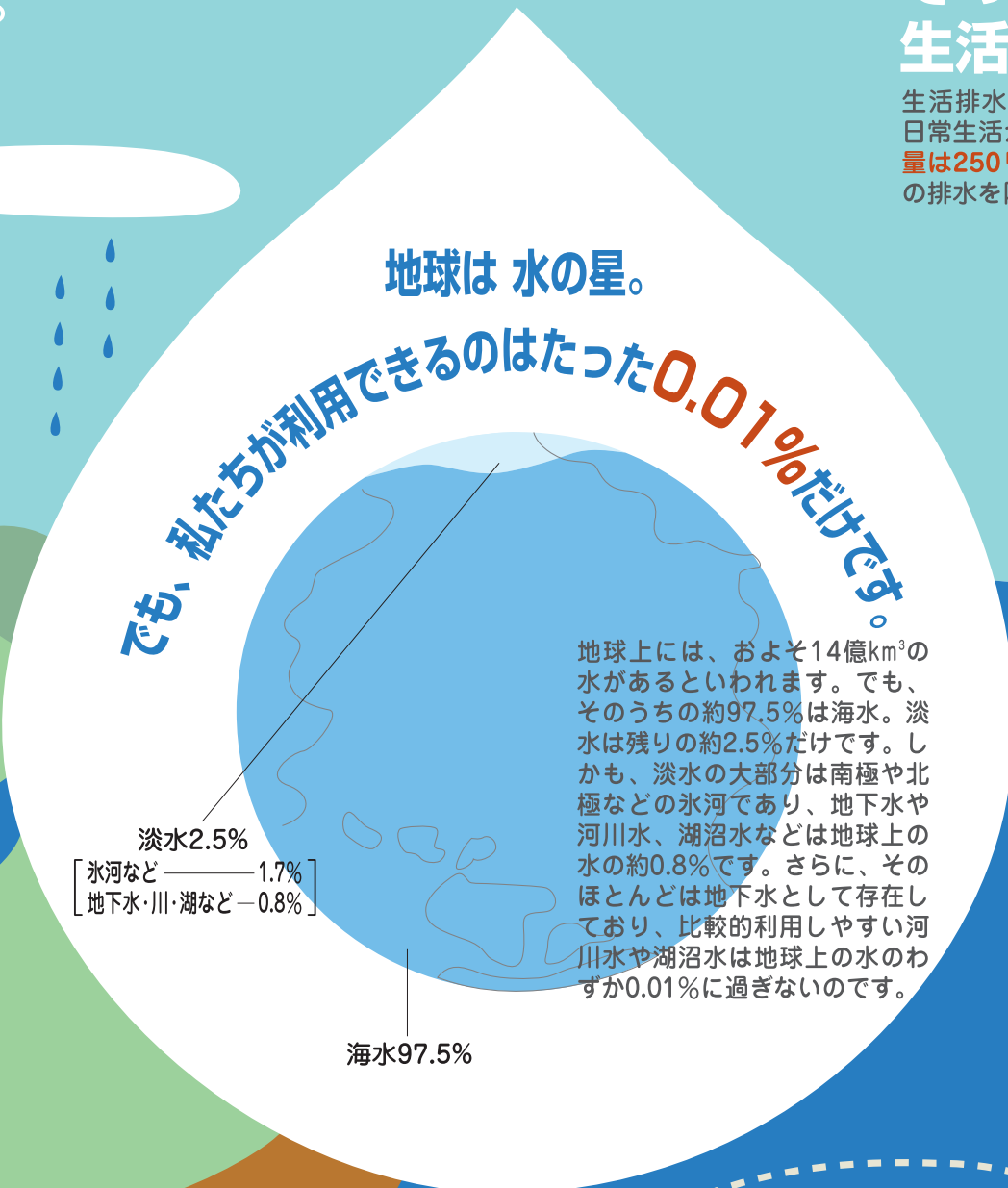
あなたが使ったその水。キレイにして流しませんか？

その貴重な水を汚す大きな原因のひとつは、生活排水です。

生活排水とは、台所、トイレ、風呂、洗濯などの日常生活からの排水のこと。1人が1日に使う水の量は250リットルにのぼります。このうち、トイレの排水を除いたものを生活雑排水といいます。

●生活排水の分類と1日1人当たりの負荷割合

生活排水 BOD 43g/人/日	生活雑排水 約70% (30g)	台所からの排水 約40% (17g)
		風呂からの排水 約20% (9g)
		洗濯からの排水その他 約10% (4g)
	し尿	約30% (13g)



水の汚れの度合いを表す指標のひとつ、「BOD」を知っていますか？

水中に十分な酸素があることは、魚や水中昆虫が生息するための基本的条件であるばかりでなく、悪臭の発生などを防止することにもなります。このことから、水の汚れの度合いを表す指標として、どのくらい水中の酸素を使うかということを示す「BOD」を用います。水の汚れというのは水中の微生物からみると栄養分であり、微生物も私たちと同じように栄養分と酸素を必要とします。BODとは、微生物が水の汚れを分解するときに使う酸素の量であり、水中の酸素が使われて少なくなってしまう*と、悪臭の発生や、魚の大量窒息死などの問題が発生するのです。ですからBODが高い水を流さないようにしなくてはならないのです。

もともと少ない水を繰り返し使っている私たち。その水を、汚さないために、私たちが努めるべきことは、生活排水をできるだけキレイにして流すことです。では、そのために、具体的に何をすればよいのでしょうか。次のページでご紹介します。

*通常、水に溶けている酸素の量は約10mg/L程度ですから、BOD43gの汚れは43gの酸素、つまり約4,300Lぶんの水に溶けている酸素を使うのです！